

キャッチボールクラシック



1. 1チーム9人で2チームを編成します。
9人1チームが5人と4人に分かれて、7メートル離れて向き合います。
2. 5人の側の先頭の選手がボールを持ち、スタートの合図とともに、向き合った相手にボールを投げます。
3. 投げ終わった選手は自分の列の最後尾につきます。ボールを捕った選手も、次に向かい合った相手にボールを投げたら、自分の列の最後尾につきます。これを時間内に繰り返します。
4. 1チームに1人、回数をカウントする審判が必要です。投げたボールを相手がキャッチしたのを1回と数えます。終了時に空中にあるボールはノーカウント。投げるときにラインをはみだすのはOKですが、捕球時にラインより前に出た場合は、カウントされません。
5. ボールを後ろにそらしてしまった場合は、後ろに並んでいる人が捕りに行ってもOK。もう1チームの選手がバックアップしてもOK。ただし次の投球は、そのボールを捕る順番だった人から再開しなければ回数はカウントされません。
ボールを前に落としてしまった場合は、前に取りに行き、ラインの後ろまで戻った時点で回数がカウントされます。もし、そのままラインの前から投げた場合は、回数はカウントされません。
6. 2分経ったところでゲーム終了の合図をします。その時点で空中にあるボールは数に入れませんが、キャッチボールが成立した回数がチームの記録となります。